

## 移動式クレーンが空荷で転倒

### ☆災害発生状況

高速道路の PC 橋梁建設工事現場において PC 橋梁脇に設置したつり上げ荷重 25t のホイールクレーンの補巻フックを用いて、PC 主桁緊張作業に使用した緊張ジャッキ（質量 485kg）に玉掛けを行い、つり上げて地上の工事ヤードへ下ろした。

ホイールクレーン運転者が玉掛けワイヤーロープが外された事を確認し、次の荷下ろしをするため前方から右方向へ旋回中、前方アウトリガーが垂直方向に縮み、ホイールクレーンが前方に傾くと共に後方アウトリガーが浮き上がりジブ先端が地面に触れた状態で停止した。

（参考）

#### 1. 移動式クレーンの種類・能力

- ジブが伸縮するホイールクレーン

- つり上げ荷重 25t

#### 2. ホイールクレーン転倒時の状況

- ジブ長さ           ジブ最長 30.5m  
                          + 補助ジブ 7.9m  
                          オフセット 5°
- ジブの傾斜角   45°
- 作業半径           26.6m
- 定格荷重           0.7t

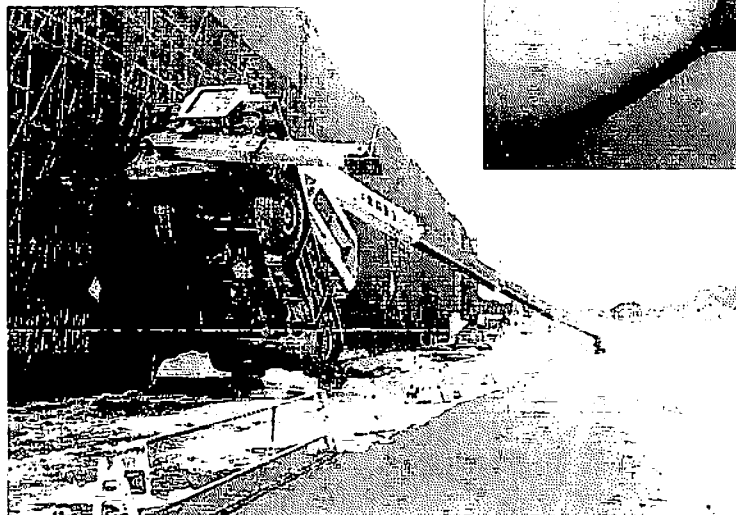
#### 3. 被害

- 人的被害           無
- 物的被害           前方右アウトリガー  
                          フロートの曲損

### ☆災害発生原因

アウトリガーを張出し後、クレーン作業を開始する前に前方アウトリガー水平・垂直スイッチ（非自動復元）を中立の位置に戻さずにクレーン作業を行っており、又運転士がジ

クレーン運転席内部 ▶



◀ ジブ先端を接地した状態で  
転倒したクレーン

ブ先端が見えるよう運転席に浅く座り、左肘をアウトリガー操作スイッチボックスに載せたまま、左手で旋回レバーを操作したため右旋回中に運転士の左肘がアウトリガー伸縮スイッチ（自動復元）に触れ、縮小側に押されたため前方垂直アウトリガーが縮小し転倒した。

☆再発防止対策

1. クレーン作業を開始する前にはアウトリガー水平・垂直スイッチが中立の位置

にあることを確認の上クレーン作業を行うこと。

又、アウトリガー操作スイッチにカバーを取り付け、運転士の肘が当たらないよう改善すること。

2. 移動式クレーンの運転を行う場合には正しい運転姿勢で行うこと。
3. 安全作業に対する意識高揚のため移動式クレーン運転士安全衛生教育を実施すること。

運転席の機器類

